

福島第一原子力発電所の状況

2015年10月21日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (10/21 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.4 m ³ /h	25.3 °C	0.4 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	31.1 °C	3.87 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.06 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	29.4 °C	0.26 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (10/21 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	23.6 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.4 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	19.5 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘッドの注水を適宜実施。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/21 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/9/10 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。9/22 に打設作業が完了、引き続き、鋼管矢板の継手処理、海側遮水壁内側の埋立を実施していく。
- 2015/10/20 2号機および3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、信頼性向上を目的に、配管の一部に使用しているフレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を行う。
当該作業では、必要に応じて設備の停止となるので、設備停止中は特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第24条の表24-1に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器が1チャンネル動作可能であること」を満足しない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行して作業を実施する。2号機原子炉格納容器ガス管理設備については9:05から作業を開始し、17:12に作業が終了。その後、当該設備の動作確認において異常が無いこと、及び短半減期核種の指示値に有意な変動がないことから、17:55 実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除。
- 2015/10/22 3号機原子炉格納容器内部調査(滞留水採水・カメラ)を実施予定。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。
- 一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日 10/9]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、10/20 10:09～15:48 に海洋への排水を実施。排水量は822m³。
- また、一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日 10/12]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、10/22 に海洋への排水を予定。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- 地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日 10月8日]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることから、10/21 10:07 より海洋への排水を開始。排水状況については、10:15 に漏えい等の異常がないことを確認。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- 10/20 に採取した1, 2号機改修ウェル汲み上げ水の分析結果について、セシウム134が410Bq/L、セシウム137が1,600Bq/Lと、前回値(10/13日採取:セシウム134:4.1Bq/L、セシウム137:19Bq/L)と比較し上昇、全ベータについては、21,000Bq/Lと前回値(10/13日採取:全ベータ:280,000Bq/L)と比較し低下。変動要因としては、10/1日から当該箇所の汲み上げ方法ならびに試料採取方法を変更しており、その影響によって変動したものと考えられる。その他の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。

- その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<海水サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。